

アンケート集計(47/47)



女性 45人

男性 2人

～10代 0人

20代 0人

30代 1人

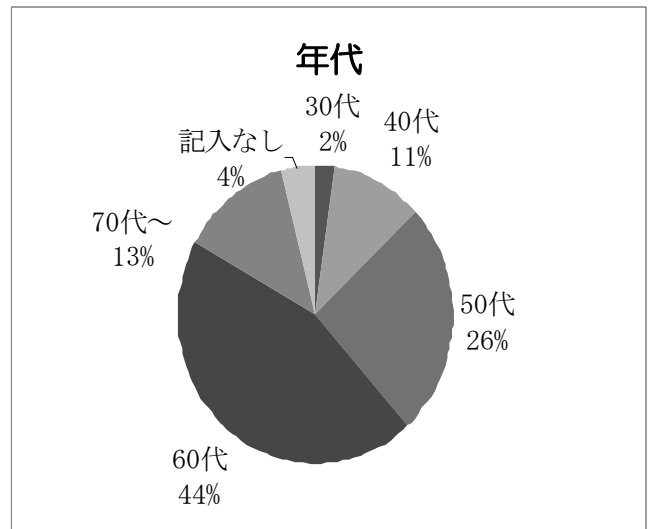
40代 5人

50代 12人

60代 21人

70代～ 6人

記入なし 2人



①「緊急地震速報」の内容をご存じですか？

今日初めて知った 5人

知っていた 42人

②「緊急地震速報」が出た場合に、どのようにするか決めてますか？

決めている 15人

決めていない 32人

③「災害用伝言ダイヤル171」の内容をご存じでしたか？

今日初めて知った 16人

知っていた 17人

知らなかった 14人

④お住まいの地区の「ハザードマップ（防災マップ）」を見た事がありますか？

ある 22人

ない 25人

⑤家族と離ればなれになった時の家族同士の連絡方法を決めていますか？

決めている 16人

決めてない 31人

⑥ご自宅の寝室や子供部屋のタンスやテレビの固定をしていますか？

している 13人

してない 34人

⑦きょうの訓練の感想をお聞かせください。

- ・再確認がいっぱいあり、関心を持たないとダメだと思った。
- ・改めて自宅の周りの見直しができました。神戸で震災にあわれた方のお話は身につまされます。
- ・いろいろ、分らないことや、知らないことが多かった。とてもためになりました。
- ・改めて恐ろしさを感じ、家族で話し合いたい。
- ・改めて自分の住んでいる地域、活動している地域のハザードマップ、しっかり頭に入れておくことが大事だと思いました。
- ・とても勉強になりました。今後活かせるように努力します。
- ・自分でできること（個人的な生活）、私たちができること（たすけあいの心）の意識をしっかり持つことができました。
- ・助ける側、助けられる側。半々というのに気付かされました。
- ・スライドを見てから怖くなって、パニック状態になると思いました。
- ・助け合いが大事。ふだんからの話し合いが大事。
- ・地図にいろんな施設をプロットすると地域のことがよくわかるのですね。これは町内会でしたらすごいいのに！と思いました。阪神大震災の映像は衝撃的でした。何ができるのでしょうか？小学校が避難所なのですが鍵がかかっている入れないのではと不安になりました。
- ・もう一度確認してみたい。
- ・地域のことをこんなに整理して認識したことはなかったので、よかった。
- ・すごく参考になりました。急な時は何もできないと思いますが、日頃から心がけていると少しは違うかと思いました。
- ・日頃は車ばかり乗っているので、近所をウォーキングしながら点検したいと思う。
- ・医院が少ないなと思った。家族との話し合いが大切だと思った。実際、何もできない状態になることは覚悟したいと思った。冷静になって自分は何ができるか考えたい。
- ・以前から行政区のお知らせで、町内の集会所に集合して小学校に避難することを知らされておりましたが、いざ本番となると行動できるか、心配です。
- ・参加してよかったと思います。
- ・防災カフェへ来て、よかった。勉強になりました。避難所の場所を調べておこうと思います。
- ・改めて自分の町の中を見直し、防災について考えさせられた。
- ・とても参考になりました。
- ・今までわかっていたつもりでしたが、店、医院、電話等の再確認できよかったと思う。
- ・阪神大震災の時の生々しい体験をもとにした話は、口先だけの防災ではなくたいへん参考になり、身にしみました。
- ・自分が思っているより、行動ができにくいこと、周りの人たちのことも気つかう気持ちをおぼえておくこと。
- ・神戸地震、思い出しました。再確認が必要と感じました。
- ・知らないことの多さを改めて感じました。
- ・地図を作製してみて、私の地域に無いものや避難場所までの大変さが良くわかりました。また、近

所のお年寄りの接し方等、よい勉強になりました。

- ・自分自身を考えたい。皆さんと連絡取りあいたい。
- ・阪神大震災の映像を見ると、考えないとダメだと思った反面、水や食品の確保は命があつてからのことなので、ご近所で助け合つてまず、命の確保が素早くできるようにしなくてはいけないと思いました。
- ・マップを見て話し合つてみると地域のことがよくわかった。いつ来るかわからない地震に、心構えが必要であることがよくわかった。ラジオの災害情報の実況は臨場感があり、他人ごとではないと実感した。
- ・リアル感があり、映像での講習はよかった。
- ・何もしていないので避難場所を決めておくこと等、もう一度話し合いたい。
- ・参加してよかった。いろいろ今やらなければならないことが見えてきました。
- ・改めて防災のための考えをしっかりと考えさせられました。とても参考になりました。
- ・改めて準備の必要なものがあると感じました。
- ・家族、近隣との関係の大切さ。
- ・日頃気を付けていた寝室での防災（ヘルメット・懐中電灯）をもっと強めておく必要があると感じました。
- ・地震の恐ろしさを再確認できたので、今日得たことを活かしたいです。もう少し具体的な実際的なところも聞きたかったです。
- ・自分ができることは自分でやらなければならないと思いました。
- ・公衆電話が自宅の近所にある個所を見つけ、うれしい。井戸が近所（歩いて行けるところ）にあることも知った。
- ・断片的な意識がこの訓練で一つにまとめる大切さを知りました。
- ・日中ほとんど外出中なので、自宅に戻るシュミレーションもやってみようと考えました。
- ・家族で防災を考えて内容を決めたい。
- ・知らないことも多く、勉強になりました。
- ・日頃、自分ひとりでシュミレーションしてはいますが、その何十倍も今日は具体的にシュミレーションができ、考えておかねばならないことがたくさんあるなと思いました。

⑧おうちに帰ってどんな準備をしようと思いますか。

- ・家族で改めて防災、減災について話しておきたい。非常持ち出し袋の見直し。
- ・皆（家族）で話し合いをしようと思います。
- ・家族間の連絡方法を確認する。
- ・まず、家族で連絡の取り合いの仕方、避難の仕方等、話し合うことが必要だと思いました。「命」の確保、水・食料の確保、手順をシュミレーションしておくことが必要。
- ・家族で話し合う。避難場所を確認する。
- ・お風呂の水は流さないようにする。電池などは枕元に置く。食品の確保を充実させておく。
- ・家族の意思の統一をはかろうと思います。（行動）
- ・家の狭さがあるのですが、家具をなんとかしたいと思います。
- ・家族の連絡方法を決めるようにしようと思いました。
- ・アパートの耐震チェック。「ハザードマップ」を読む。
- ・家族で集まる場所を決めること。その前にみんなで地震が起きたら…の話し合いから始めないとダ

メですね。食料 etc の置き場所とかも考えていかないとダメです。家具の固定も！

- ゆっくり考えてみたい。
- 災害時の打合せを家族でします。
- 必需品をリュックに入れて準備してありますが、日が経つと水、電池、乾パンを入れ替えてますが忘れるときもあり、置き場所も次第に隅の方へ押しやられます。
- 家族とミーティングをしたい。貴重品の確認。
- カセットコンロの用意。食器類。その準備品をどこに置くか考えたい。
- 水は缶詰やペットボトルを用意していますが、持って逃げる物を一袋にまとめておこうと思います。家族とどこで集合するか、連絡場所を相談します。
- 履物、水、食品。
- 子どもらに避難所を教えておこうと思います。
- 家族で話し合い、手順等決めておきたい。避難場所を確認して一度歩いてみる。
- いまある災害用品の再点検をする。
- 家族で声かけ合って近所の人にも声をかけてあげようと思った。必要品はあとからでも持ち出せるようにまとめておこうと思いました。
- もう一度家族でしっかり話し合いたい。
- 夫とよく話します。物置に置いてある品物、点検しなおします。
- バラバラに置いてあるのをひとつにまとめたく思います。
- 家族の間でもっとしっかり決めごとをしないといけないと思いました。もう一度食料品のストックも考えてみます。
- 家族・近所の方々とよく話し合いをしたいと思います。
- どこへ避難するか考えたい。
- 家族で連絡のとり方や『171』の使用の確認をし直す。
- 171のことを知らせて話し合っておきたい。
- 171の確認を家族でしてみたいと思います。できるだけ行政を頼らず、自分たちでできることをしようと思った。
- 家族でもう一度171とか集合場所とか再認識しようと思います。地域で一度話し合ってみようと思います。
- まず、家族で防災に対する意識を持って地震の時にどこに避難するかを決めて、前から決めてあった避難所の確認、171の確認をしておく。
- 家族といろいろ話し合う必要を感じました。
- 自宅のマップを作ってみたい。
- タンス等の置き場所を変えようと思った。家の中の安全な場所を確認、家族で決める。
- 家族全員で話し合いたいと思います。非常食の入れ替えをしたいと思います。
- 家族で防災会議をしたい。
- 逃げ場所を確認する。避難場所を決めておく（家族）
- 用意してある物品の点検と補足を考えます。
- 自宅の安全な場所を再確認したいです。水・食糧などの備蓄をしていますが、再確認！
- 避難用のリュックの点検をする。家具の固定を調べる。
- 少しだけカバンに入れてますが、長い間そのままになっていますので、点検しようと思います。
- 家族同士の連絡方法（別居している人も含めて）について家族会議をする。

◎今日の訓練を今後どのように活かそうと思いますか。(書ききれない場合は裏にもどうぞ)

- ・「防災家族会議」に活かそうと思います。
- ・地域の防災の設備などを見に行こうと思います。
- ・ボンベ専用のガス器を備えたい。地震速報の場合は全域にサイレンを鳴らすようなシステムはどうか。外出している人にもわかるように。
- ・家の中で安全なところを家族で共有すること。ご近所でどう避難するか共有も大切だと思いました。
- ・救急袋の中身の点検をします。
- ・家族での話し合いの必要性を感じましたから、ぜひやりたいと思う。
- ・きちんと状況を把握して判断、行動が震災時においてできるよう、日頃の生活の柔軟性を（ボランティア活動の大切さ等）養っておかなければと思います。
- ・家族と連絡方法を確認したいと思う。
- ・実家と対応の打合せ。家族の課題と職場でお互いの意識づけ。
- ・これから友達と集まるときには、話の前に今日のことを伝えていきたいと思います。まるで他人ごとのようでしたが、自分のことだという想像力が大切。
- ・職場でやってみたいと思います。
- ・皆が少しは応急処置ができるようにしておく必要を感じました。
- ・周りの仲間に今日のことを知らせて、またチャンスがあれば次回は誘い合って学習に参加したい。
- ・近所の人たち、周りの状況等を知っておきたい。向こう三軒両隣の確認。
- ・食料品を冷蔵庫に確保することも大切だと思った。
- ・みなさんにも今日学習したことを機会あるごとに言い伝えていきたいと思います。がれきの上を逃げることを考え、革靴を履いて逃げることを心がけます。
- ・防災の勉強をしたことをみんなに話そうと思います。
- ・自宅にあるもので防災に役立つものを見直す。風呂に水をためておく。コミュニティでも話し合いを持ちたい。
- ・家族でしっかりと話し合う。連絡方法など。
- ・町全体が老人が多いのでどんな生活しておられるのか、なんとなく気にかけて見ておこうと思いました。
- ・自治会や学区で活かしたい。
- ・自分だけでなく周りを見渡さなければいけないこと、ご近所は一人暮らしが多いことなど考えていきます。
- ・人に知らせることも大事だと思います。
- ・災害の時はご近所の大切さがよくわかりました。ご近所づきあいをもっと密にしたいです。
- ・近所の人と一度道を通ってみたい。
- ・今日のことをふまえ、もう一度考え直します。
- ・家に帰って家族と話したいです。地域の防災訓練にも参加したいです。
- ・171を確認してみようと思った。いろいろためになるプランでした。感謝しております。ありがとうございました。
- ・私は地域で自治連合会の役員をしています。一昨年も年一回の防災訓練の打合せ会（11/11にやります）をしたところです。でも、今日のお話を聞いて恒例の防災訓練はあまりにもリアリティがないなと思いました。中身は9:00に地震発生を想定して各町内ごとに集まって小学校に9:30までに来る。そのあと、救助訓練とか放水訓練とかをやって11:30におにぎりを配って帰る。「地域で

やってほしい」というお話でしたが、ぜひやってみたいと思います。でも、具体的にどういうふう
にやったらいいのかなと思ったりしています。地域には「自主防災会」があつて年何回か集まりを
持っています。企画する例（私たち）としては何をしたらいいのかを地域の消防署員や消防団の方
と相談します。そんなところにこういう企画も出していただけたら地域でも具体化しやすいのにと
思います。

- ・家族や友人にも話して意識を高めたいです。
- ・まず、自分の身を守ることに重きを置かなければと思いました。
- ・もう一度、災害に対して見直したい。
- ・その場に立ってあわてないように日頃から頭の中でシュミレーションを作っておきたい。
- ・地域の再確認をしたいと思いました。
- ・ライフラインが全部止まった時は行政には頼れないと思いました。道路など遮断された時の事を考
えると大変だと思った。
- ・支えあつて助け合い、知恵を大いに生かしていきたいです。家族のコミュニケーション、地域での
話し合いと今日の体験を伝えていきたいです。小林美文さんの紙芝居、胸にずしっと来ました。あ
りがとうございました。地域のシュミレーション地図。肝心の地図がなく残念でした。
- ・地域で地図おとしをひろげていきたいです。
- ・自分だけではないのでお互い様の心を忘れず、たすけあいの心が大切だと思った。その時自分が大
丈夫ならリーダーになれるようになりたい。
- ・地域の人々にも役に立つ情報を伝えたい。独居老人マップなど必要な地域でのネットワークの強化
の必要性を発信していきたい。